

卒業式

平成27年3月5日



呉医療センター附属呉看護学校で過ごした三年間は、とても充実していました！
どの領域においても、患者さんの個別性を尊重した看護を提供することが看護師にとっては大切である
ということなど、様々なことを学ばせてもらいました！
この学校で学んだことを大切に、立派な看護師になれるようこれからもがんばります！

☆三年生の一年間の思い出

三年生の一年間の思い出を振り返ってみました。実習、ケーススタディ作成・発表、国家試験などさまざまなことがあり三年間の中で一番濃い一年間だったと思います！



平成26年6月28日 第49回学校祭

三年間で最後の学校祭！
実習の最中、4月から三年生恒例の
身体測定を準備してきました。
最後の学校祭ということでみんなで
楽しむことができました！

平成26年12月3・4日 三年間のすべての実習終

実習で受け持たせていただいた
患者さんや、優しく時には厳しく
学生を温かく見守り、指導して下
さった先生方・病棟の指導者さん
のおかげで様々な学びを得ること
ことができました。
三年生になると実習と同時進行で
ケーススタディ作成や国家試験
勉強などを行い大変でしたが、
仲間と共に頑張ってきました！





国家試験勉強について

実習やケーススタディの発表が終わると、いよいよ国家試験における勉強一本となりました。国家試験はこの三年間で学んできたことの集大成です。看護師になりたいという夢を実現するため、国家試験合格に向けて日々勉強を頑張りました！



みんなでお揃いのクラスパーカを着て、一致団結！
目指すは国家試験、全員合格！！！！！！

平成27年2月19日 出陣式！

学校長先生から
パワーをいただ
きました！



3月22日に行われる第104回看護師国家試験において出陣式が開かれました。学校長先生・副学校長先生・先生方から不安を吹き飛ばすようなお言葉をいただき、国家試験においてさらに気合いが入りました！
これまで成績が伸び悩んだこともありましたが、最後は自分自身の頑張りを信じ、国家試験に臨むことができましたと思います！



☆2年生をふいかえて☆



実習終了後に集合みんなでパシャリ！

9月から本格的に実習が始まり、はじめは分からないことばかりで不安もありましたが、学校の先生、家族、病棟の指導者さんにご指導をいただき少しずつ理解を深めていくことができました。時には逃げ出したくなることもありましたが、相談に乗ってくれたり、励ましてくれた友達がいたから乗り越えることができたのだと思います。

また行事では2年生が中心となり運営をしてきました。特に学校祭では2年生が中心となって、学校祭がより良いものになるようにみんなで意見を出し合い、当日はたくさんの方に来場していただくことができて嬉しかったです。

来年は最高学年となり、実習、就職活動、国家試験など様々な試練が待っていますが、51回生全員で力を合わせて頑張っていきたいです！

3年次において、特に力を入れたいのは実習です。多くの患者さんと関わらせていただく中で対象理解に悩むことはたくさんありますが、その中でどんな時も患者さんに思いを寄せて感謝の気持ちを忘れず関わらせていただくことが大切だと実感しています。3年生になったら、実習そして国家試験の勉強に精一杯取り組み、憧れの看護師になるという夢を叶えたいです。また、最高学年としての自覚を持ち行動していこうと思います！



朝、実習に行く前に円陣を組んでいました！

平成26年10月9日 戴帽式



入学式のときよりも、一人ひとりの顔つきが凛々しくなった気がします。戴帽式では、家族や先生、先輩方から温かい祝福の言葉を頂き、周囲の方々に支えられている実感しました。その事に感謝しながら、日々成長していきたいと強く思いました。



戴帽式を終えて、改めて同じ目標を持つ仲間と共に、誠実な態度で学んでいきたいと思いました。

52回生 誓いの詞

一、私たちは、同じ目標を持つ仲間と力を合わせ、より多くの知識と確かな技術を身につけ誠実な態度で学んでいきます。

一、私たちは、身体的、精神的、社会的な側面から対象および家族を理解し、その人らしく生きていくことを支援することができる看護師になります。

一、私たちは、看護師をめざすとともにひとりの人として成長し続けることができるように日々努力していきます。



戴帽式後、みんなで写真を撮りました！

平成27年2月2日～10日 日常生活支援基礎看護学実習Ⅱ

2月2日～2月10日までの7日間、病棟に実習に行きました。学生同士でする援助の練習も臨床の場では、患者さんの状態によって援助の方法を考える必要があり、頭を抱えた7日間でしたが、先生方や指導者さん、そして周りの友人のサポートがありひとひといひと新しい看護の一步を踏み込んだ実習となりました。

患者さんひとひといひに合った個別性のある看護を提供することの重要性を学ぶことが出来、看護の大変さとともに看護に対する自分の考え方が変わるきっかけとなった実習になりました。



患者さんの出来ないところだけを見るのではなく、できるところを見つけて、強みにする看守りの看護の重要性、目の前の患者さんだけでなく、今まで生きてこられた人生背景をも含めた患者さんの姿を見ることの必要性を学びました。